

# 令和5年度 下音更小学校 学校経営方針

## 1 学校教育目標・・・(目指す子ども像にあたる部分)

～民主的でたくましい生活を築く子ども～

- (1) 生活を創造する子ども・・・(主体的でコミカがあり、自立できる子)
- (2) 仲間を大切にする子ども・・・(思いやりのある子)
- (3) 勉強を大事にする子ども・・・(進んで学ぶ子)
- (4) 仕事を進んでする子ども・・・(働くことに喜びをもてる子)
- (5) たくましい体をもつ子ども・・・(生涯を生き抜く強い体をもつ子)

## 2 目指す子ども像(令和元年度に作成したものが基本となっている)

### (1) 小学校6年間のゴールの姿

～「自立の基礎」(自分から行動できる)を身に付けた子どもの育成～

- 「基礎学力と進んで学ぶ態度」をもった子ども
- 「思いやる心と強い意志」をもった子ども
- 「生涯を生き抜く強い体」をもった子ども

### (2) 育てたい資質・能力

- ① 主体性(自力で根気強く取り組む態度 自分で考え判断する力)をもった子ども
- ② コミカ(自分の言葉で相互に伝え合う・深まりのある話し合い)をもった子ども

### (3) 当たり前のことを当たり前でできる子ども

- ① 「学びの土台」「生活の土台」を身に付ける
- ② 正しい言葉遣いを身に付ける(返事、敬語等)
- ③ 正しく聞く姿勢を身に付ける(話している人を見て最後まで聞く等)

## 3 目指す教師像

- (1) 学び続け力量を高め努力ができる教師
- (2) 「子どもに対する愛情」と「職務に対する使命感」をもてる教師
- (3) 礼儀、マナー、服務規律等当たり前のことを当たり前ででき、相手を尊重できる教師
- (4) 「チーム下音」として全員で課題解決に立ち向かう意識がもてる教師

## 4 下音小の合言葉

☆「明日も学校に行きたいと思える学校でいよう！」

- ① 「笑顔」と「自信」にあふれる下音小に！  
～勉強大好き、友だち大好き、先生大好き、学校大好き  
～やった！できた！わかった！
- ② 「チーム下音小」の力で下音小にしかできないことを！

～みんなで考え、みんなで決めて、みんなでやり抜く

～保護者、地域と手をつなぎ、力を結集して子どもを育てる

## 5 基本姿勢

### (1) 学級経営の基盤は「支持的教室風土」づくり

学級経営における基盤は、「支持的教室風土」をつくりあげることです。「学力向上」もその土台がしっかりとしてから成り立つものです。子どもとの会話を多くし、下音更小の合い言葉にあるように「明日もまた学校に行きたい」と思える学級づくりが肝要です。また、学校便りの標題にもなっていますが、「共育」を柱にどんな些細なことでも保護者との連携（情報共有）を大切にしていくことが子どもの健やかな成長を図る上で欠かせないことです。また、今年度より「学級担任・クラスの単年度制」が始まります。単年度ごとに全てが変わりますので、全校での取組は、「揃える・徹底する・継続する」ことが大切です。

### (2) 「チーム下音小」として

全教職員が、「全校児童の担任」という意識をもち、「チーム下音」として子どもたちのために熱く議論し高め合い磨き合うことが大切です。そして、その議論で決まったことは全員で足並みを揃えてやっていきましょう。また、何か学級で課題が上がったら、まずは学年団で情報共有し、管理職へ報告・連絡・相談を徹底するなど、チームでの解決していくことが基本です。

- ・「熱く議論し、決まったらみんなでやろう！」という姿勢をもつこと。
- ・「高め合い、磨き合う職員集団をつくろう！」という意識をもつこと。

### (3) 教師としての“当たり前”のレベルアップ

目指す子ども像に「当たり前の徹底」があると同時に教師の当たり前もレベルを上げていく必要があります。

- ①「服務規律」（違反・事故の防止、ワイセツ防止、体罰防止、セクハラ防止）の保持徹底
  - ・「信頼は一瞬に失うもの」という意識をもつ（自分だけでは留まらず、子ども・保護者・同僚・家族まで波及することもある）。

- ②子どもたちの安全確保、危機管理（危険を予知し回避する目）の徹底

- ・連絡がなく登校していない児童に対しては担任が朝のうちに確認をとる。また、直接担任が保護者と欠席の連絡がとれていない場合（他の職員が電話を受け取った場合）は、放課後に連絡を入れて状況を聞き取る。また、不登校の兆候がある子には素早い対応。いじめの未然防止・早期発見にも努める。

- ③報告、連絡、相談、確認、記録の徹底

- ・年度より1年ごとのクラス編成となります。子どもの記録は大切な引継の資料となりますので、校務パソコンにしっかりと入れておくこと。また、子どもに関わること、保護者対応、自分自身に関すること（場合によって）の管理職への報告、連絡は習慣づけて

おくことが大切。

④TPOに応じた言葉遣い、挨拶、身だしなみの徹底

- ・職員一人一人が下音小を代表してるとの意識に立った責任ある言動に努める。

6 今年度の重点目標 \*チーム下音として『揃える・徹底する・継続する』を徹底し目標達成を！

(1)「教師が教える授業」から「子どもが学びとる授業」への授業改革

- ①「主体的・対話的で深い学びのある授業」「個別最適な学び・協働的な学びのある授業」

「目的に応じた効果的なICTを活用した授業」の実践・検証・改善を行う。

- ②校内研修を軸に、令和の日本型教育を今一度確認し、授業スタイルを「教える」から「学ぶ」

へ転換し子どもが「学び方を学べる」学習者中心の授業を構築する。

(2)「支持的教室風土」のある学級づくり

- ①本校における当たり前（学び・生活の土台等）のことを当たり前に行える学級づくり

- ②常に子どもに寄り添い、褒め認め自己肯定感を高める生徒指導

- ③保護者とともに子どもを育てる意識をもち些細なことでもお互いに共有できる関係づくり

(3) 下音小アクションプランの推進 \*アクションプランの詳細は別紙参照

- ①下音小アクションプランについては、年度途中においても随時改善していく。

- ②全ての職員が自分事として捉え、自分の働き方はもちろん、全職員が働きやすい職場にしていくという意識をもつ（自分事として考える）。

7 学校実践課題

(1) 学習指導要領への対応

- ①主体的・対話的で深い学びの実現

- ②ICT等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(2) 教育課程の工夫・改善

- ①地域と連携、協働した教育活動の充実

- ②目指す子ども像の家庭、地域との共有

- ③主体性、コミカを育てる教育課程の編成

- ④「地域学校協働活動」を取り入れた教育課程の編成

(3) 授業改革・学力向上の取組

- ①普通の授業、学テ・CRTの短期スパンによる授業改革

\*学力の学年（学級）格差、教科の落ち込みを無くす

- ②主体的に表現する力、正確に聞き取る力の育成

- ③加配等の有効的な活用

(4) 豊かな心と健やかな体の育成

- ①「特別な教科 道徳」のさらなる充実

②「いじめは絶対にダメ！」の徹底指導

③体力の向上と体育の授業の工夫

(5) 信頼される学校づくり

①「楽しい授業」の創造をビジョンとした共同研究

②「支持的教室風土づくり」と家庭との連携。

③「服務規律」の遵守（交通規則、体罰、ワイセツ）

④各種調査の効果的利用（いじめアンケート、Q-Uアンケート等）

(6) 特別支援教育の推進

①「個別の指導計画」「個別の支援計画」に基づいた指導の充実

②支援体制、保護者対応等の問題への対応

③通常学級における要支援児童への支援の工夫

④「個別・交流学习」「自立活動」の充実

⑤今後の支援体制の在り方についての見直し検討

(7) 校種間連携の推進

①小中連携協議会を通じた中学校との接続

②幼保小での交流活動と情報連携

③スタートカリキュラムの改善

(8) 家庭・地域との連携

①おやじの会、ママズネット、ブックビーンズとの連携

②「学校運営協議会」「地域学校協働活動」との積極的な連携

③町内会との連携・交流

8 主幹・各分掌の取組の重点

(1) 主幹

校長及び教頭を補佐し、教員のリーダーとして学校運営組織を円滑に機能させ役割を果たす。

①学力向上に向けた取組の充実（教務・研修・学年との連携）

②体力向上に向けた取組の充実（保体・学年との連携）

③加配の時数管理

④補欠授業の整理

⑤ホームページの管理

⑥小中連携の取組の充実（小中連携担当者との連携）

⑦その他校長・教頭の命を受けた校務や児童の教育をつかさどる

(2) 教務部

①授業時数の確保、管理

②指導要録、出席簿の管理、通知表の改善

- ③各種行事の持ち方の工夫
- ④端末の管理
- ⑤「学びの土台」の定着の徹底
- ⑥学力向上の取組の充実（主幹との連携）

### （3）指導部

- ①校内、校外生活の安全指導の徹底
- ②主体性、コミカを育てる児童会、クラブ活動
- ③防災、防犯等の安全指導の工夫
- ④端末のルール管理
- ⑤「生活の土台」の定着の徹底

### （4）保体部

- ①衛生面の徹底～手洗い、咳エチケット、掃除、消毒
- ②行事の持ち方の工夫
- ③グラウンド、新体カテストのコース設計、リンク設計関係
- ④本校の体力向上に向けた取組の充実（主幹との連携）

### （5）研修部

- ①「教師が教える授業」から「子どもが学びとる授業」への授業改革
- ②「主体的・対話的で深い学びのある授業」「個別最適な学び・協働的な学びのある授業」  
「目的に応じた効果的な ICT を活用した授業」
- ③「楽しい授業」の創造
- ④ICT に関する情報提供や研修会実施

### （6）支援部

- ①「個別の指導計画」「個別の支援計画」に基づいた指導の充実
- ②支援体制、保護者対応等の問題への対応
- ③通常学級における要支援児童への支援の工夫
- ④「個別・交流学习」「自立活動」の充実
- ⑤今後の支援体制の在り方についての見直し検討

### （7）事務部

- ①効果的な予算執行
- ②効果的な教育環境づくり
- ③教頭、事務補との積極的な連携と業務分担